

世界鍼灸のスタンダード。

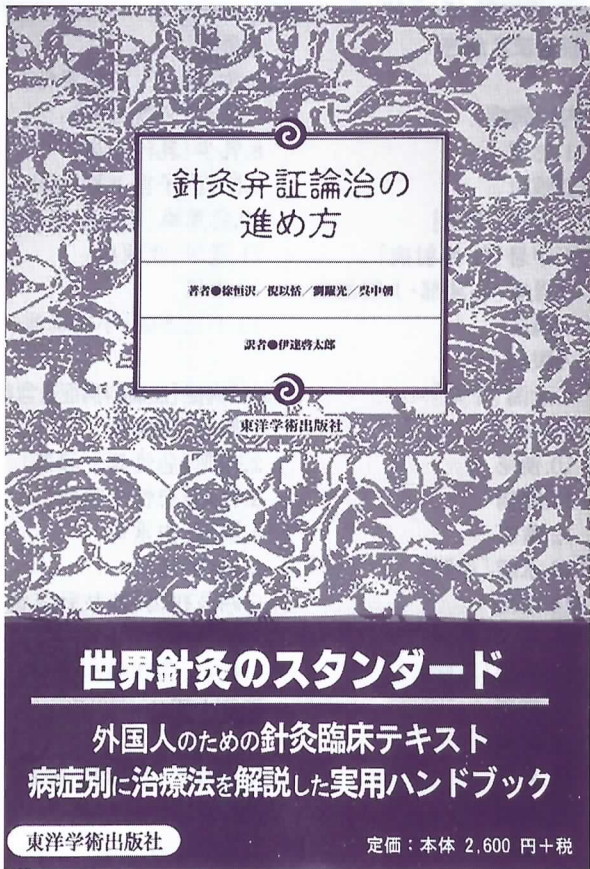
鍼灸弁証論治の進め方

徐恒沢・倪以活・劉躍光・吳中朝／編著 伊達啓太郎／訳
A5判 並製 240頁 定価2,730円(本体2,600円)送料315円

- ・内科・産婦人科・外科・小児科・感覚器科でよく見られる58疾患の治療法を詳述。
- ・臨床にすぐ結びつく具体的な症例解説つき。
- ・初心者から臨床家まで、座右に置いて便利に使える治療ハンドブック。

中国に留学する外国人のための教材を翻訳した、最も基本的でポピュラーな1冊。現代中医鍼灸学の中心ともいえる南京中医學院の国際鍼灸訓練センターのメンバーによる執筆と編纂である。中医病別に治療方法を網羅し、内科・婦人科をはじめ各種の疾患に対応できるよう工夫している。全部で58種類の基礎的な疾患について、具体的な症例をあげながらの解説がわかりやすい。初心者にも経験ある臨床家にも、すぐに治療に役立つ実用的な内容が盛り込まれている。

それと同時に、本書は理論と実践との関係を考えていくうえで、の格好の材料をも提示している。今後、日本において古典理論をどう展開していったらよいのか、示唆に富む。



世界鍼灸のスタンダード

外国人のための鍼灸臨床テキスト
病症別に治療法を解説した実用ハンドブック

東洋学術出版社

定価：本体 2,600 円＋税

推薦文 浅川要

本書では、主軸を論治に置き、実際の臨床の現場で常見される病症に対し、その病因病機から論を起し、病症の特性や随伴症状、舌診などからそれを特定、の証に概括し、治法・処方・手技・処方解説と話を進めていく。さらには本書の弁証論治の内容を参考にして治療できる西洋医学の疾患が付記されている。一見すれば読者はその優れた実用性に気づくであろう。

東洋学術出版社

〒272-0822 千葉県市川市宮久保3-1-5
電話 047-371-8337
FAXフリーダイヤル 0120-727-060

世界針灸のスタンダード。

24. 頭痛（付：三叉神経痛）

頭痛は多くの急・慢性疾患においてしばしばみられる臨床症状である。頭痛の範囲は広く、病因病機も複雑である。本篇では、風邪襲絡・肝陽上亢・気血虚・瘀血阻絡などによる頭痛についてのみ解説し、そのほかの疾病に伴う随伴症状としての頭痛については言及しない。

風邪が頭部の経絡に侵襲すると、気血不和となり、経絡の流れが阻害され、頭痛が引き起こされる。このような状態が長く続くと、瘀血が絡脈に留滞し、気候の変化や風邪に遭うごとに、頭痛発作が起こるようになる。肝木の性質は“条達を喜む”であるため、肝気が鬱して気機不暢となるか、あるいは抑鬱や怒りのため肝陽が偏亢し、これによって腎陰が虚すると、水不涵木の状態を引き起こして風陽が上擾し、やはり頭痛を引き起こすことになる。また、長期の病のために体力が衰え、気血が虚し脳髄を上榮できなくなっても頭痛を発症させる。さらに慢性の痛みから、瘀血が絡脈を阻滞するにいたるか、転倒・打撲などによって気血の流行が不暢となり、これらが脳髄に影響すると、頭痛が慢性化したり繰り返して発作を起こすようになる。

現代医学における高血圧、動脈硬化、貧血、自律神経失調症、脳震とう後遺症など、頭痛を主症状とする疾患は、すべて本篇を参考にして論治することができる。

【弁証施治】

① 風邪襲絡

気候の変化や風寒の邪に感じることが原因で発症する発作性の頭痛である。脹痛・刺痛あるいは拍動性の間歇性の痛みで、多くは一側性に起こるが、左右交互に痛んだり、頭部全体に及ぶこともある。舌苔白、脈弦緊。

効果が明らかでないときに加える。下向けに50度の角度で約0.5寸斜刺し、触電機針感が下唇部に達するよう20～50回提挿を行う。上記の刺法を行う上で重要なことは必ず針感を得ることである。

【症例】

李〇〇、女、56歳、退職者、初診日：1983年4月9日

1週間前から、頭頂部に刺すような、あるいは拍動性の痛みが持続的にあり、間歇的に激しくなる。頭痛の既往がある。診察時には、百会穴とその周囲に拍動性の痛みがあり、時々ずきずきと激しく痛み、左耳までひきつるよう痛むといった様子であった。目がしばしばして開けにくい（目涙不開）、面赤、咽乾、安眠できない（睡眠不穩）、便が固い、小便黄、上肢や手のしびれ、両足の冷え、いらいらして怒りっぽい（急躁易怒）、胸苦しい（胸悶）、胸部が火照るようで落ち着かない（心煩）などの症状を伴っている。所見：血圧145/90mmHg、舌は偏紅で紫味をおびている。舌苔薄黄膩、脈細弦やや数・両尺とも弱。本例は、肝陽から内風が生じ、清竅が塞がれ、肝腎陰虚となったものである。治法は、清肝熄風、和絡止痛とし、標証から先に治療することにする。大敦を取穴し、三棱針で数滴、点刺瀉血する。さらに、湧泉に艾条灸（樺灸）を10分間施灸、太衝・風池を針瀉する。30分間置針し、その間2回手技を加える。大敦穴の点刺瀉血後、すぐに頭頂部の拍動性の痛みが減じ、やがて消失した。置針中に、上部の“冒火（火熱に冒される）”症状も徐々に消失し、足も温かくなった。翌日の再診時には、頭頂部にわずかに痛みが残る程度であった。原処方にて三陰交を加え、3回の治療を行ったところ、病状が大いに好転したため、治法を滋養肝腎として本治法にあらためた。すなわち太谿・太衝・曲泉・三陰交の針補と陽輔の針瀉による治療を8回行い全治した。

陳〇〇、男、34歳、工員、初診日：1986年3月30日

5年前から右側偏頭痛があり、軽くなったり重くなったりするといった状態が続いている。過労や緊張、あるいは感情の変化が誘因となって症状が加重する。最近、休日出勤が続いたため過労となり、頭痛発作が起きている。

原著まえがき

内科病症

1. 感冒
2. 咳嗽
3. 哮喘〔喘息〕
4. 中暑〔日・熱射病〕
5. 胃痛〔心窩部・上腹部痛〕
6. 嘔吐
7. 腹痛
8. 泄瀉〔下痢〕
9. 痢疾
10. 便秘
11. 脇痛
12. 黄疸
13. 水腫〔浮腫〕
14. 消渴
15. 驚悸〔動悸〕
16. 失眠〔不眠〕
17. 癲狂
18. 痢証
19. 鬱証
20. 淋証
21. 癰閉〔排尿障害〕
22. 遺精
23. 陽萎〔インポテンツ〕
24. 頭痛〔付：三叉神経痛〕
25. 眩暈〔めまい〕
26. 中風
27. 面癱〔顔面神経麻痺〕
28. 痺証〔付：坐骨神経痛〕
29. 痿証
30. 腰痛

5. 帯下
6. 胎位不正〔胎位異常〕
7. 滞産〔分娩遷延〕
8. 乳少〔乳汁過少〕
9. 陰挺〔子宮下垂・脱出〕
10. 急驚風〔急性小児痙攣〕
11. 遺尿〔夜尿症〕
12. 疳積
13. 小児痿証〔小児麻痺〕

外科病症〔皮膚科病症を含む〕

1. 風疹〔蕁麻疹〕
2. 疥癩〔急性耳下腺炎〕
3. 乳癰〔急性乳腺炎〕
4. 腸癰〔虫垂炎〕
5. 落枕〔寝違い〕
6. 四肢扭傷〔四肢軟部組織損傷〕
7. 蛇丹〔带状疱疹〕
8. 扁平疣

五官病症〔耳鼻科・眼科・歯科病症〕

1. 目赤腫痛
2. 聾耳〔滲出性中耳炎〕
3. 耳鳴・耳聾
4. 鼻淵〔鼻炎・副鼻腔炎〕
5. 歯痛
6. 咽喉腫痛
7. 近視

用語・字義小解 訳者あとがき

婦人科・小児科病症

1. 月経不調〔月経不順〕
2. 痛経〔月経痛〕
3. 閉経〔無月経〕
4. 崩漏〔性器出血〕

「針灸学シリーズ」3部作

天津中医学院・学校法人後藤学園／編 兵頭明／監訳 学校法人後藤学園中医学研究室／訳

- ① 針灸学〔基礎篇〕 定価6,300円 B5判 上製 400頁
- ② 針灸学〔臨床篇〕 定価7,875円 B5判 上製 548頁
- ③ 針灸学〔経穴篇〕 定価6,720円 B5判 上製 508頁



針灸学 基礎篇



針灸学 臨床篇



針灸学 経穴篇